



久井公民館だより

発行/三原市久井公民館 〒722-1412 三原市久井町和草614番地 2月号
電話・FAX/0847-32-7139

平成27年
2月1日発行
No. 115号

立春とは名ばかりで余寒が身に染みる季節です。

皆さま 風邪など召されていませんか。

インフルエンザの流行も心配される季節です。外出後は手洗いとうがいなどをこまめに行い、感染しないように気を付けましょう。

運動・栄養・休養にも気を付けられて、健やかに過ごしてくださいね。



2014三館合同イベント石見系神楽シリーズ



2/15
(日)

場所
くい文化センター
(高原ホール)

山県郡北広島町
上石神楽団
天岩戸・安達ヶ原

チケット発売開始日：1月13日(火)

入場券

一般：前売 / 1,000円 (当日 / 1,500円)
中学生以下：前売 / 500円 (当日 / 1,000円)
開場：午後1時30分
開演：午後2時

チケット販売所：大和文化センター・本郷生涯学習センター・くい文化センター・中央公民館・ポポロ・久井南コミュニティーセンター・久井公民館

主催：三原市教育委員会

お問い合わせ：大和文化センター 本郷生涯学習センター くい文化センター
0847-33-1115 0848-85-0701 0847-32-7138

どうぞ お楽
しみください。

前売券完売の場合は、当日券の販売はありません。

平成26年度三原市生涯学習発表会

主催 三原市教育委員会生涯学習課

☆主催講座受講者の学習成果の発表があります。

日時 作品展示：2月21日(土) 9:00~17:00

2月22日(日) 9:00~16:00

舞台発表：2月22日(日) 10:30~15:30

場所 三原市本郷生涯学習センター

☆久井公民館からの発表

作品出品：ドライフラワーアート講座・古布で遊ぼう講座

写真展示：庭の手入れ(剪定)講座



【昨年度作品展】



杭・久井・くい コーナー

「三原市久井歴史民俗資料館」の民俗資料から生活文化について触れてみましょう。No.10

俵編み機



俵締め機



米俵



農具9【俵を作る機械(俵編み機・俵締め機)】

俵は、藁を円柱形に編んで作られました。側面に当たる菰と※棧俵をそれぞれ編み、最後にこれらをつなぎ合わせて作ります。

まず、側面の菰の部分は俵編み機で編みます。木製の組み立て式で、重りは「コモツツ」と呼んでいました。稲藁をしごき木槌で打って揃え、綴じる縄の向きをコモツツで交互にしながらか束を編んで菰を作ります。底と蓋になる部分の棧俵は、藁束の胴中を縛り円盤状に広げ端を編み込み作ります。

次に菰を丸め端を編み合わせて円筒にし、端を内側に折り込み棧俵を被せ底を作ります。中に定量の米を詰め棧俵で蓋をします。その上を編み上げた縄で外れないように押え、俵締め機で胴体を締めます。この用具は鉄製で、取っ手でワイヤーを締める構造になっています。俵の胴体を締めて縄できつく縛り、縦方向にも持ち上げます。

俵は米を入れるだけでなく、芋などの農作物や木炭・塩魚など各種の産品を入れ、出荷・保管・運搬するためにも用いられました。

[5斗俵には、64束の藁束を編んだ幅の菰が要る。]

※棧俵：米俵の両端に付ける蓋で、藁で編んだ丸い形のもの。

別名＝さんだらぼうし・さんだらぼっち(炭俵ではない場合が多い。)

次号は農具10をご紹介します。